

AYA week 応援フラッグ 作成しました！



AYA世代という言葉をご存知でしょうか？

AYAは思春期（ADOLESCENT）と若年成人（YOUNG ADULT）を組み合わせた用語で、一般に15～39歳の世代を指します。

日本人の2人に1人が経験する「がん」の約4%はAYA世代に発症すると報告されています。他の年齢層と比べると比較的がんがまれな世代ですが、毎年約2万人のAYA世代が、がんの告知を受けています。

人生の中で、最も夢を希望を抱き、また様々な課題と向き合うAYA世代。そんな時に突然降りかかってくるがん体験はとても受け入れ難く、非常に理不尽に感じるものです。また、周囲にがんと向き合う同世代が少ないため、多くの方が孤独を感じています。さらに、患者自身も医療者もすぐにはがんに疑わないため、他の年齢層と比べて診断が遅れる傾向があることも知られています。

そんなAYA世代のがん患者さまを応援するフラッグを作成しました。小さくて見えづらいですが、がん関連の専門職がメッセージを書いています。

病院2階、がん相談支援室前の廊下に貼っていますので病院に来られた際には、実物を見に来てください。